



東山魁夷<秋思>(本制作)1988年

私の画家としての旅路は、常に円周を描いている。京都の次は、道は自然に大和路へ通じていた筈である。京都から大和へは、なだらかな坂を一つ越すだけだからである。しかし、私はやはり、すぐ大和へは向わないで、昭和44年の春にドイツ、オーストリアの旅に出ている。その旅による数々の作品の制作を終える頃、こんどは唐招提寺障壁画を描く運命に従うことになり、奈良、大和路への旅が始まったわけである。

『旅の環』東山魁夷画文集別巻自伝抄旅の環1980年新潮社

No. 作品名 制作年 分類 取材地

大和春秋			
1	霧の朝	1973～1985	大和春秋スケッチ 奈良県春日大社
2	とうしょうだいじげつめい 唐招提寺月明	1973～1985	大和春秋スケッチ 奈良県唐招提寺
3	夕べの塔	1973～1985	大和春秋スケッチ 奈良県興福寺
4	朝の塔	1973～1985	大和春秋スケッチ 奈良県興福寺
5	かすがのあきぎり 春日野朝霧	1973～1985	大和春秋スケッチ 奈良県春日野
6	こりょうほくめい 古陵薄明	1973～1985	大和春秋スケッチ 奈良県箸墓
7	とびひの 飛火野	1973～1985	大和春秋スケッチ 奈良県飛火野
8	柿の木と白壁の家	1973～1985	大和春秋スケッチ 奈良県奈良市
9	かすがの 雪の春日野	1973～1985	大和春秋スケッチ 奈良県春日野
10	かよう 萱生にて	1973～1985	大和春秋スケッチ 奈良県萱生
11	酒造りの家	1973～1985	大和春秋スケッチ 奈良県桜井市
12	石佛	1973～1985	大和春秋スケッチ 奈良県
13	むらうぼまつ 室生暮雪	1973～1985	大和春秋スケッチ 奈良県室生寺
14	室生の塔	1973～1985	大和春秋スケッチ 奈良県室生寺
15	あかめぼんしゅう 赤目晩秋	1973～1985	大和春秋スケッチ 奈良県名張市
16	けいおん 溪音	1993	木版画 奈良県名張市
17	あさ 布留の森	1973～1985	大和春秋スケッチ 奈良県天理市
18	しゅうし 秋思	1988	本制作 奈良県石上神社付近
19	吉野の春	1973～1985	大和春秋スケッチ 奈良県吉野
20	吉野の春	2003	新復刻画 奈良県吉野
21	松と月	1973～1985	大和春秋スケッチ 奈良県御蓋山

初期のスケッチ

22	ほうしゅん 訪春(甲州にて)		スケッチ 山梨県
23	海辺にて(伊豆)		スケッチ 静岡県
24	湖畔の冬(河口湖)		スケッチ 山梨県河口湖
25	六甲裏山にて		スケッチ 兵庫県神戸市
26	ゆうばえ 夕映(十国峠富士)		スケッチ 神奈川県箱根
27	えんぼう 遠望(海上より)		スケッチ
28	自画像	1923	油彩

No. 作品名 制作年 分類 取材地

日展準備作			
29	道スケッチA	1950	第6回日展のための準備作 青森県種差海岸
30	道スケッチB	1950	第6回日展のための準備作 青森県種差海岸
31	道スケッチC	1950	第6回日展のための準備作 青森県種差海岸
32	道スケッチD	1950	第6回日展のための準備作 青森県種差海岸
33	道スケッチE	1950	第6回日展のための準備作 青森県種差海岸
34	道小下図	1950	第6回日展のための準備作 青森県種差海岸
35	冬の旅小下図	1989	改組第21回日展のための準備作 秋田県鹿角市、湯瀬
36	冬の旅	1989	本制作 秋田県鹿角市、湯瀬
37	たにまスケッチA	1953	第9回日展のための準備作 山梨県御坂町一河口湖町、御坂峠
38	たにまスケッチB	1953	第9回日展のための準備作 長野県山ノ内町、上林温泉
39	たにまスケッチC	1953	第9回日展のための準備作 長野県野沢温泉村
40	たにまスケッチD	1953	第9回日展のための準備作 長野県野沢温泉村
41	たにまスケッチE	1953	第9回日展のための準備作 長野県野沢温泉村
42	たにま小下図	1953	第9回日展のための準備作 長野県野沢温泉村
43	たにま大下図A	1953	第9回日展のための準備作 長野県野沢温泉村
44	たにま大下図B	1953	第9回日展のための準備作 長野県野沢温泉村
45	たにま大下図C	1953	第9回日展のための準備作 長野県野沢温泉村
46	せいしょう 静唱スケッチA	1981	改組第13回日展のための準備作 フランスパリ郊外
47	静唱スケッチB	1981	改組第13回日展のための準備作 フランスパリ郊外
48	静唱スケッチC	1981	改組第13回日展のための準備作 フランスパリ郊外
49	静唱小下図	1981	改組第13回日展のための準備作 フランスパリ郊外
50	静唱	1981	本制作 フランスパリ郊外
51	沼	1993	本制作 長野県信濃町、古池

唐招提寺御影堂障壁画のための準備作「日本の山・海」

52	唐招提寺への道	不詳	書	
53	山雲試作1～4	1974	第一期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作	
54	えんう 煙雨	1973	第一期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作山スケッチ	
55	霧深き谷	1973	第一期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作山スケッチ	
56	あさぎり 朝雲	1973	第一期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作山スケッチ	
57	りよつきょう 緑峽	1973	第一期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作山スケッチ	
58	せいとう 青濤	1973	第一期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作海スケッチ	
59	あらいそ 荒磯	1973	第一期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作海スケッチ	
60	がんしょう 岩礁	1973	第一期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作海スケッチ	
61	とうせい 瀟声試作1～3	1974	第一期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作	

唐招提寺御影堂障壁画のための準備作「中国の風景」

62	たんもんぼしよく 端門暮色	1976	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作「大地悠々」スケッチ	中国、北京
63	かーとんからかん 胡同俯瞰	1976	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作「大地悠々」スケッチ	中国
64	たいにほえい 太湖帆影	1976	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作「大地悠々」スケッチ	中国太湖
65	朝	1976	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作「大地悠々」スケッチ	中国
66	セリム湖畔	1977	第二期唐招提寺障壁画のための準備作「天山遙か」スケッチ	中国イリ地区
67	競馬場に向う人々	1977	第二期唐招提寺障壁画のための準備作「天山遙か」スケッチ	中国イリ地区
68	男女の馬競べ	1977	第二期唐招提寺障壁画のための準備作「天山遙か」スケッチ	中国イリ地区
69	のうせんしよげん 農村所見	1976	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作「大地悠々」スケッチ	中国

カット・デザイン原画

70	1月号表紙	1959	雑誌『新潮』表紙原画	
71	2月号表紙	1959	雑誌『新潮』表紙原画	
72	3月号表紙	1959	雑誌『新潮』表紙原画	
73	4月号表紙	1959	雑誌『新潮』表紙原画	
74	5月号表紙	1959	雑誌『新潮』表紙原画	
75	6月号表紙	1959	雑誌『新潮』表紙原画	
76	7月号表紙	1959	雑誌『新潮』表紙原画	
77	8月号表紙	1959	雑誌『新潮』表紙原画	
78	9月号表紙	1959	雑誌『新潮』表紙原画	
79	10月号表紙	1959	雑誌『新潮』表紙原画	
80	11月号表紙	1959	雑誌『新潮』表紙原画	
81	12月号表紙	1959	雑誌『新潮』表紙原画	
82	日展画集表紙装画	1973	カット・その他	
83	「大和春秋」カット	1985	カット・その他	

東山魁夷(ひがしやまかいい)略歴

明治41年(1908)横浜に生まれ、3歳のとき神戸にうつる。東京美術学校日本画科を卒業。昭和8年(1933)ドイツに留学。日展に出品をつづけ、22年(1947)特選受賞。31年(1956)日本芸術院賞受賞。40年(1965)日本芸術院会員となる。44年(1969)文化勲章受章。皇居新宮殿壁画、唐招提寺御影堂障壁画を制作。平成11年(1999)5月6日逝去。享年90歳。

東山魁夷館

東山魁夷は信州について、東京美術学校の学生時代から、信州へのスケッチ旅行を重ね、「わたしの作品を育ててくれた故郷」と呼んでいました。平成2年(1990)、長野県に家蔵の本制作、スケッチ、習作、下図等が寄贈され、長野県信濃美術館に併設して東山魁夷館が開館しました。(収蔵作品は現在約960点)

作品の分類について

「本制作」:主に展覧会への出品を前提に日本画の岩絵の具で描かれたもので、当館収蔵の作品は1970年から晩年にいたる作品が中心となっています。

「スケッチ」「習作」:東山魁夷自身による分類で、スケッチが実景の写生であるのに対し、習作は構図や色彩により作者なりの解釈をほどこしたもので、内容的には本制作に一步近づいたものといえるでしょう。